

# JST戦略的創造研究推進事業CREST

[共生インタラクション]

人間と情報環境の共生インタラクション基盤技術の創出と展開 領域

## 「脳領域／個体／集団間の インタラクション創発原理の解明と適用」 シンポジウム

REAL & ONLINE

開催日時  
2023 3/11 土 13:30-18:05

開催場所  
TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口 @ バンケットホール7A

本プロジェクトは「脳領域間や個体間、集団間などのさまざまな層のインタラクションに共通する原理はあるのか?」という問題提起から出発しました。本研究チームでは、複雑な環境のもとで機能分化し即時適応する基本原理を解明してきました。拘束条件付き自己組織化理論からダイナミック拘束の下での変分原理を提案しました。この原理をもとに、機能分化と即時適応をそれぞれ実現するAI分野でのブレークスルーとなるニューラルネットを開発しました。また人間や霊長類社会における集合知の発現条件を明らかにし、未来社会への提言も可能となりました。さらに、コミュニケーションに伴う脳活動変化の定量化を行い、個別化医療への一歩を踏み出すことができました。

本シンポジウムでは、プロジェクト実施期間(2017年10月-2023年3月)に得られた研究成果をお示しします。

研究代表者 津田 一郎



[事前登録制]

会場定員 先着 40名

\*定員に達し次第締切

配信方法:現地開催  
およびWeb開催・配信  
ハイブリッド方式

参加費  
無料

参加のお申込みは  
こちら

右の二次元コードより  
専用フォームへアクセス  
し、お申込みください。



### プログラム 13:00より受付開始

- 13:30 - 13:40 開会挨拶 プロジェクトチーム概要 研究代表者 津田 一郎
- 13:40 - 14:15 中部大学 創発原理グループ紹介  
津田 一郎「拘束条件付き自己組織化理論とその応用」
- 14:15 - 14:50 大阪大学 脳領域間・ロボットグループ紹介  
河合 祐司  
「ニューラルネットワークの構造的制約がもたらす機能分化とロボットの即時適応」
- 14:50 - 15:00 休憩
- 15:00 - 15:45 基調講演 浅田 稔  
「インタラクション設計の科学に向けて -再訪:認知発達ロボティクス-」
- 15:45 - 15:55 休憩
- 15:55 - 16:30 金沢大学 個体内/個体間グループ紹介  
池田 尊司「親子関係の可視化:神経科学的アプローチ」
- 16:30 - 17:05 中部大学 個体間/集団間グループ紹介  
松田 一希「サル」の社会生態研究からの挑戦」
- 17:05 - 17:40 東京大学 集団内/集団間グループ紹介  
亀田 達也「群衆の知恵(Wisdom of Crowds)を超える集合知発生のメカニズム」
- 17:40 - 18:00 [共生インタラクション] 領域  
研究総括 間瀬 健二  
「人間と情報環境の共生インタラクション研究がもたらす未来社会デザイン」
- 18:00 - 18:05 閉会挨拶 津田 一郎



基調講演者

浅田 稔

Minoru Asada

大阪国際工科専門職大学副学長  
大阪大学特任教授  
中部大学創発学術院客員教授  
情報通信研究機構PI

主な著書:  
「浅田稔のAI研究道」  
近代科学社, 2020年




登壇者

間瀬 健二

Kenji Mase

名古屋大学 数理・データ科学教育  
研究センター特任教授  
名古屋大学名誉教授

〈主催〉中部大学 創発学術院 

本講演に関するお問合せ  
cuaes@office.chubu.ac.jp

会場における新型コロナウイルス感染症に関する対策とお願い

- 受付で検温を行いますので協力ください。37.5度以上の発熱症状がある場合は、参加をお控えいただけます。
- 来場時のマスク着用および会場入室時の手指消毒にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、対面形式をWEB配信に変更することがあります。